

## 5 緊急事態宣言の下での学校、学童保育

【質問】学校が臨時休校となり、放課後児童クラブは学校と調整を図りながら運営されてきたが、今後起こりうる第2波に備えて、これまでの連携などを検証した上での準備が必要と考えるが、市の見解を問う。

【答弁】本市では、学校の臨時休業期間中においても、子育て支援の観点から、各小学校での児童の受け入れを行い、あわせて、市内47カ所の放課後児童クラブにも開所を依頼した。

午前中から開所する期間が長期にわたり、各クラブの支援員に負担が掛かったことから、学校での児童の受け入れの拡充や、学校からの放課後児童クラブへの人的支援、学校グラウンドの使用許可を行うなど、実情に応じた取り組み

を実施してきた。

今後、懸念される第2波に備えるため、感染予防のための十分なスペースを確保できない放課後児童クラブについては、密集性を回避し、感染を防止するための学校施設の活用を検討するなど、引き続き、学校と放課後児童クラブの連携を図り、新型コロナウイルス感染症の感染防止に努めていく。



その他の質問 ○学校の休校措置を一律に行う事の是非など

## 6 貧困対策および経済対策

【質問】貧困対策には、雇用や教育、住まいなど多岐にわたるさまざまな課題がある。総合的なワンストップ窓口の設置について、どのように考えているのか。

【答弁】現在は市庁舎1階の保護課で、多岐にわたる困りごとに関し、相談者と共に考えて整理し、必要な支援につないでいる。「どこに相談したらよいか分からない」といった相談者の困りごとをまず聞くことがワンストップと考えているので、庁内や他の関係機関との連携を深めていく。

【質問】中小企業の経営状況や各事業者の困りごとをどのように把握しているか。

【答弁】三重県の信用保証付き融資制度の認定件数が、本市では4月以降で800件を超えており、あらゆる業種で経営に影響が出ていることを確認している。また、ものづくり産業支援センターの専門アドバイザーによる5月の巡回訪問では、訪問した製造事業者の8割近くが何らかの影響を受けていると確認しており、経営・融資分野のアドバイザーによる支援も必要と考えている。

## 特別委員会調査事項の決定

質疑終了後は、委員間で協議を行い、「健康福祉分野」、「危機管理分野」、「教育・子ども政策分野」、「産業政策分野」の4分野で各2項目を調査事項とすることを決定しました。第3回以降の委員会では、関係する執行部から聞き取りを行い、取り組みや対策などについて調査研究を進めていきます。

最後に、委員長から、偏見、差別、誹謗中傷に対する注意と、感染予防対策を引き続きお願いすることが述べられ、閉会しました。

### ----- 8月の特別委員会 (予定) -----

8月5日(水) 午前10時から

第5回委員会「教育・子ども政策分野」

8月19日(水) 午後1時から

第6回委員会「産業政策分野」

### 調査事項

#### 1 健康福祉分野

- (1) 医療体制の強化・充実について
- (2) 生活者支援の対策について

#### 2 危機管理分野

- (1) 複合災害への対策について
- (2) 市民への正確な情報発信について

#### 3 教育・子ども政策分野

- (1) 教育・子ども関係の感染防止対策について
- (2) 授業の遅れを取り戻すためのICT教育について

#### 4 産業政策分野

- (1) 自粛や休業などによる市内経済活動への影響について
- (2) 市独自の産業支援策の検証について